

生田緑地からのセミタケ *Cordyceps sobolifera* の記録

佐藤大樹*¹・小山明人*²・松尾浩暢*³

The first Record of *Cordyceps sobolifera* from Ikuta Ryokuchi Park,
Kawasaki, Kanagawa, Japan

Hiroki Sato, Akito Koyama and Hironobu Matsuo

緒言

生田緑地において、昆虫病原菌は、若宮 (1997)、井口 (1998, 2003)、佐藤 (2002a, b) に記録されてきた。今回、川崎市青少年科学館キノコボランティア養成講座第2回の折、ニイニゼミの幼虫からきのこが生えた試料が採集され、セミタケと同定された。セミタケは生田緑地からは初記録となるので記録し紹介する。

調査方法

調査日：2005年7月7日。調査地：生田緑地内野鳥の森。採集者：松尾浩暢。採集地である野鳥の森は谷戸状の地形で、コナラ、ソメイヨシノ、ツバキ、サングジュ等の植栽された林であった。これらは密生し、全体的に暗い湿潤な場所であった。

結果

地表から棍棒状のきのこが地表から伸び出ており、その地表部を掘ったところ、きのこことセミの幼虫が連結した状態で採集された。採集された試料は乾燥して、小山明人により保存されている (標本番号 232)。

乾燥標本の子実体は棍棒状で褐色、長さは42mm、先端付近の最大幅は2.9mm、セミ幼虫との接合部分は2.1mmであった (図1)。ペリテシアは埋性で先端部がかろうじて見える程度であった (図2)。寄主は、ニイニゼミの終齢幼虫であった。

これらの特徴は、セミタケ *Cordyceps sobolifera* とよく一致した。

考察

神奈川県からセミタケは8回の観察が文献に記録されている。すなわち、葉山町において2回 (今関, 1973)、鎌倉市源氏山では5回 (浜口 1997、清水 1994、生出 2000、城川 1995)、足柄郡中井町において1回である生出 (1991)。また、県内の保存標本を調査した結果、横須賀市自然博物館にも横須賀市野比産の標本が保管されている (所蔵標本 YCM-F1169 を直接観察)。

生田緑地から知られているセミの寄生菌は、ツクツクボウシタケに限られており (生出, 1991, 若宮 1997、井口 1998, 2003、三村・三村, 2000、佐藤 2002a)。今回の発見は、本菌の生田緑地における初記録のみならず、川崎・横浜地区における初記録となる。また、神奈川県では、10回目である。本菌は、1991年以降、一年当たり1件弱ずつ、徐々に記録が蓄積しつつある菌である。これは、観察者の増加によるものと考えられる。

前述の神奈川県内の報告では、本菌の採集日は6月下旬から9月上旬までであり、9件のうち6件が7月に集中している。今回の標本も7月7日に採集され、この時期に一致している。発生場所は、丘陵地が多い傾向が見られるが、本菌の生態を解明する為には、今後も発生情報と共に、発生環境情報を蓄積する必要がある。

生田緑地は、都市近郊の限られた面積の緑地であるが、観察機会の希な菌類相を持つ貴重な緑地であると考えられた。

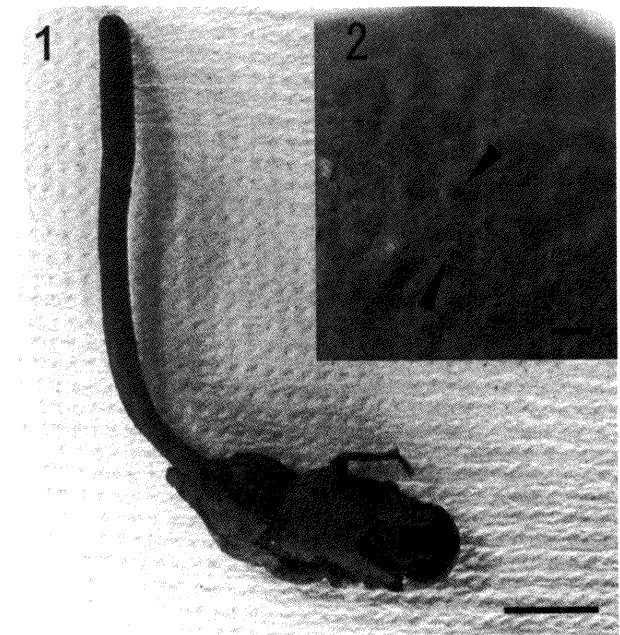


図1. セミタケ全体図. スケール 1cm.

図2. 子実体先端部の拡大. やじり印：子嚢殻開口部. スケール 100 μ m.

* 1 森林総合研究所九州支所

* 2 川崎市青少年科学館

* 3 川崎市青少年科学館

Summary

Cordyceps sobolifera was collected in Ikuta Ryokuchi Park, Kanagawa, Kawasaki, Japan. This is the first record of this species in this city and the tenth record in Kanagawa prefecture.

謝 辞

横須賀市自然博物館大森雄治氏には、館所蔵の昆虫病原菌標本を閲覧させて頂いた。記して感謝申し上げます。

引用文献

井口潔 (1998) 生田緑地の菌類相について. 川崎市青少年科学館紀要 (9): 29-34.
井口潔 (2003) 川崎市生田緑地のきのこ相 - 環境解析の基

礎データとして - 川崎市自然環境調査報告 V : 98-145.
今関六也 (1973) カラー自然ガイドきのこ 105p. 保育社.
生出智哉 (1991) 神奈川自然史資料 12:65-68.
浜口哲一 (1997) 平塚市博物館資料 46 キノコ類標本目録 148pp.
清水大典 (1994) 冬虫夏草 14: 17.
生出智哉 (2000) 冬虫夏草 20: 140.
城川四郎 (1995) 神奈川キノコの会会報 17: 25.
佐藤 (2002a) 神奈川県におけるツクツクボウシタケの分布記録. 神奈川県自然誌資料 (23): 81-85.
佐藤 (2002b) 生田緑地で採集された新寄主 3 例を含む昆虫病原菌 *Beauveria bassiana* および *Metarhizium anisopliae* の記録 川崎市青少年科学館紀要 (13): 33-36.
三村浩康・三村京子 (2000) 冬虫夏草 20: 139.
若宮崇令 (1997) 生田緑地のきのこ追録 I. 川崎市青少年科学館紀要 (8): 25-32.